

「別紙 5」

#### 4. 4 アクセス可能性

##### a) 韓国所蔵資料

1) ソウル大学校 奎章閣韓国学研究院

-奎章閣韓国学研究院所蔵の記録物の原本はその保存のため原則的に一般人への公開を許可しない。

-奎章閣韓国学研究院所蔵の記録物はマイクロフィルム、影印本、デジタル化したイメージ等でサービスしており、デジタル化作業は現在進行中である。

2) 国立中央図書館

国立中央図書館所蔵の朝鮮通信使資料の原本はその保存のため、特殊な目的以外は原則的に一般人への公開は許可しない。しかし、デジタルファイル、マイクロフィルム及び複写資料はだれもが利用できる。

3) 国史編纂委員会

-資料の原本はその保存のため公開を制限しており、

-資料の閲覧はマイクロフィルム、デジタル化したイメージ等である。

4) 高麗大学校 図書館

当該遺産に関する情報は高麗大学校図書館ホームページを通じてアクセスすることができる。

5) 忠清南道歴史文化研究院

-現在忠南歴史博物館(忠南公州市所在)の常設展示室に展示しているので、直接博物館を訪問し当該遺物を観覧することができる。

-遺物を細かく閲覧したい場合は、所蔵遺物の管理規定の第40条(閲覧申請)により遺物閲覧申請書を作成して許可を得た上、閲覧が可能となる。

-当該遺物のデジタルファイルが必要となる場合は、所蔵遺物の管理規定の第50条(著作物市民サービス)により条件付きで提供する。

6) 国立中央博物館

6件の当該遺産に関する情報は国立中央博物館のホームページを通じ

てアクセスでき、国立博物館所蔵遺物の複製規則(文化体育観光部令)と国立中央博物館所蔵遺物の管理規定(国立中央博物館例規)により接近、或は制限されることがある。

7) 釜山博物館

釜山博物館の運営条例に基づいて決められた申請手続きによって遺物利用の申請ができ、博物館で企画する特別展示と常設展示を通じ観覧できる。今後、当該記録物のイメージ資料などの公開計画を推進中でおり、所蔵遺物の情報公開データベース化作業の推進によりインターネットを通じたウェブ接近性が大幅向上することが期待される。

8) 国立古宮博物館

当該遺産に関する情報は国立古宮博物館のホームページを通じてアクセスでき、国立博物館の所蔵遺物の複製規則(文化体育観光部令)と国立古宮博物館の所蔵遺物の管理規定(国立古宮博物館例規)により接近もしくは制限されることがある。

9) 国立海洋博物館

当該遺産に関する情報は国立海洋博物館のホームページを通じてアクセスでき、国立博物館の所蔵遺物の複製規則(文化体育観光部令)と国立海洋博物館の所蔵遺物の管理規定(国立海洋博物館例規)により接近もしくは制限されることがある。

**b) 日本所蔵記録**

1) 京都大学総合博物館

常設展示において適宜、展示公開している。また、各地の博物館・資料館への出品、調査・研究の受け入れを行っている。

2) 東京国立博物館

展示企画にあわせて適宜、展示公開している。また、刊行物で画像を公開しており、これらの閲覧及び入手は常時可能。研究者の受け入れ、他の博物館・美術館の展覧会への出品も行っている。

3) 山口県立山口博物館

現在、展示室を改修中のため展示については休止中しているが、2016年夏から再開の予定。改修後は適宜、展示公開する予定。各地の博物館・資料館への出品、国内外の専門家・研究者による調査・研究の受け入れ等を行っている。また、全資料のデジタル化は完了し、その一部はWEB上に公開している。

4) 山口県文書館

常時、閲覧室において資料の閲覧、撮影が可能となっている。また、併設して展示スペースを設けており、適宜、資料を展示公開することが可能である。他の博物館等施設への出品、調査・研究の受け入れは積極的に協力している。

5) 福岡県立図書館

資料の閲覧は、写真フィルムあるいはプリントによる提供を基本としている。

6) 名古屋市蓬左文庫

常設展示における展示公開のほか、各地の博物館・資料館への出品、専門家・研究者による調査・研究の受け入れ等を積極的に行っている。

7) みやこ町歴史民俗博物館（福岡県）

寄託されている福岡県立育徳館高等学校錦陵同窓会所蔵資料は、常設展示における展示公開のほか、他館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。

8) 土肥純子（個人）

展示公開は行っていない。研究者による調査研究には積極的に応じている。ただし、ユネスコ記憶遺産登載後は、壱岐市立一支国博物館への寄託を予定しており、寄託後は同館で展示公開する予定。

なお、資料のデジタル化は完了し、壱岐市立一支国博物館においてデジタル画像により公開している。

9) 近江八幡市(旧伴伝兵衛家土蔵)

展示公開はしていない。他の博物館などへの出品には対応している。デジタル化は実施しているが、公開はしていない。

10) 大阪歴史博物館

企画展示を通じて適宜、展示公開している。国内外の博物館・資料館への出品、国内外の専門家・研究者による調査・研究の受け入れを行っている。デジタルデータ化は完了し、一部の資料はWEB上でも閲覧することができる。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

11) (公財) 高麗美術館

常設展示などによる展示公開のほか、国内外の博物館・資料館への出品、国内外の専門家・研究者による調査・研究の受け入れを積極的に行っている。現在、順次資料のデジタル化を進めており、一部の資料については、WEB上に公開している。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

12) 下関市立長府博物館

2016年11月開館予定の下関市立歴史博物館への移行準備のため、寄託されている波田兼昭所蔵資料を含めて展示公開を中止している。新博物館移行後は、常設展のテーマ展示において年間60日程度を目途に展示公開するほか、デジタルデータ化を進めており、入館者がパソコン上で検索して閲覧可能な状態を保つ。また、特別閲覧制度により資料の閲覧及び写真撮影は可能。その他、各地の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。また、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

13) 長崎県立対馬歴史民俗資料館

寄託されている松原一征所蔵資料を含めて展示室において適宜、展示公開するほか、各地の博物館・資料館への出品、国内外の研究者による調査・研究の受け入れを行っている。また、全資料のデジタル化は完了している。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

14) (公財) 蘭島文化財団(松濤園)

展示室において適宜、展示公開している。各地の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。資料のデジタル化は完了している。

15) 宗教法人超専寺

展示公開は行っていない。ただし、ユネスコ記憶遺産登載後は上関町総合文化センターに寄託する予定であり、レプリカ作成して同センターで常時展示することを検討している。デジタル化は完了し、WEB上に公開されている。

16) 滋賀県立琵琶湖文化館

現在、休館中であり、資料は2019年頃に建設が予定されている滋賀県立の新生美術館(仮称)に移管され、そこで展示公開される。国内外の博物館・資料館への出品、専門家・研究者による調査・研究の受け入れは積極的に行っている。資料のデジタル化は完了し、WEB上に公開されている。

17) 宗教法人泉涌寺

宝物館において展示公開している。国内外の博物館・資料館への出品、専門家・研究者による調査・研究の受け入れを行っている。資料のデジタル化は完了し、WEB上に公開されている。

18) 高月観音の里歴史民俗資料館

寄託されている芳洲会所蔵資料は、常設展示や企画展示を通じて展示公開している。国内外の博物館・資料館への出品、専門家・研究者による調査・研究の受け入れを積極的に行っている。全資料はデジタルデータ化が完了し、一部の資料はWEB上で閲覧することができる。2016年夏には、全資料のWEB公開を計画している。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

19) 宗教法人赤間神宮

宝物殿において展示公開している。各地の博物館・資料館への出品を行っているほか、研究者や参拝者などからの要望により特別閲覧可能。

19) 福山市鞆の浦歴史民俗資料館

企画展示で展示公開を行うほか、各地の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。また、資料所蔵者の福禅寺の堂内において、当該資料をもとに制作された扁額を掲示して観光客などに公開している。資料のデジタルデータ化は完了し、一部の資料はWEB上でも閲覧することができる。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

20) 岡山県立博物館

寄託されている宗教法人本蓮寺所蔵資料は、常設展や企画展示を通じて展示公開されるほか、各地の博物館・資料館への出品、国内外の専門家・研究者による調査・研究の受け入れを行っている。

なお、過去に開催した展覧会図録において、資料図版の閲覧及び入手は可能。

21) 宗教法人本願寺八幡別院

常設的な展示公開は行っていないが、要望により閲覧は可能。また、小学校の校外学習時に公開している。

22) 宗教法人清見寺

宝物館において展示公開している。また、当該資料をもとに制作された扁額を堂内に掲示しており、常時これを見学することができる。他の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。また、全資料のデジタル化は完了し、調査報告書が刊行されている。

23) 宗教法人慈照院

展示公開は行っていないが、国内外の博物館・資料館への出品、専門家・研究者による調査・研究の受け入れを積極的に行っている。また、資料のデジタルデータ化は完了しており、WEB上での公開を検討している。

24) 宗教法人輪王寺

宝物殿において展示公開しているほか、他の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。

25) 宗教法人東照宮

宝物館において展示公開している。を設置し学芸員を配置している。他の博物館・資料館への出品、研究者による調査・研究の受け入れを行っている。